



NEWS LETTER

第12号

あけまして
おめでとう
ございます



特集 脊髄損傷のある方の障害受容と看護

あけましておめでとうございます。
CNS/CN連絡会議では、今年も皆様の実践にすぐに役立つタイムリーな情報をお伝えすることを目指します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年最初のニュースレターでは「脊髄損傷のある方の障害受容と看護」を考えます。障害受容というと「喪失」や「悲嘆」と類似した心理的なプロセスとしての「段階論」がよく知られています。しかし、経験的にみると、親しい人や医療スタッフとの関係性の中で、自己に対する考え方や自己への接し方を再学習するプロセスがあり、ご本人の内面で生じる心理的なプロセスだけではない、人と人との関係性の中で発展していくプロセスでもあったと考えられます。そこで今回はリハビリテーションの場での看護実践を考えるために「障害受容」を、「周囲との関係性の中で、その人が自分の身体との新たな付き合い方を身につけ、新たな生活スタイルでその人らしくあり続けられること、および至るプロセス」と捉えなおしてみました。さあ一緒に、リハ看護実践を考えてみましょう。

障害受容のプロセス

脊髄損傷のある方との関係性を深め、 気づきを高める言葉かけ

障害受容のプロセスに そった看護実践



大変な経験でしたね。
お話しいただけますか？
(涙を流されたとき…
言葉は要りません…)

全ての失った感じが
しているのですね。

身体の痛みや
苦痛はありませんか？

治療や合併症について
どのように聞いて
おられますか？

私たちは
きちんと
お手伝い
できている
でしょうか？

親しい人はどのように受け止めて
おられますか？

今、どのような時に
楽しいと感じますか？

今後の生活を
どのように考えて
いらっしゃいますか。

- 直面している現実を理解し、
経験を知る努力を続ける
- 怒りの感情が向いた時は
距離をおきつつも、
あたたかい関心を寄せる
- 痙攣等による苦痛を評価し、
身体的な痛みを少なくする
- 日々の生活の中で
実施できるセルフケアを
一緒に考える
- 今の身体状況を一緒に考え、
身体についての理解を助ける
- 生活リズム作りのお手伝いをする
- 周りの人との関わりについて
問いかける
- 参加・活動を拡げる
お手伝いをする
- 今後の身体の変化を
一緒に検討する
- 直面している現実について
その都度共感的に理解する
- 新しい生活スタイル、いきがい
作りのお手伝いをする

CNS・CNからの情報



専門看護師（CNS）の役割（その8）：研究のきっかけ作り

みなさまが取り組む看護研究をそれぞれの局面でさまざまな角度から支援するのも、CNSの役割の一つです。
今回は、現場での疑問を研究につなげるちょっとしたコツ??をお伝えします。



「臨床で疑問に思うことはない？」って言われても、「目の前のことをこなすだけで精一杯」だと、疑問すら思い浮かばないのではないのでしょうか？



ちなみに、私の場合は、昔の1B棟に実習で来ていた時(20年前)、アトリーゼ型CPの小学校低学年の子が、ごろごろと転がりながら上手に洋服を着脱している姿に衝撃と感銘を受けたことでした。小学校低学年でしかも障害があるのに、どうやってこの方法を編み出していったのだろう、というのが最初の疑問です。これをきっかけに10人のCPの子の更衣動作を詳細に観察し、方法とかかった時間を調べ、運動レベル、知的レベルとの関係を検討したという卒業研究でした…。

まずは、日々の仕事で心を動かすところから始めたらいかがでしょうか
すごい！うれしい！これは痛いよ！とか…
最近心が揺れ動いた出来事がありましたか??



小児看護専門看護師市原真穂PHS(787)



全粥は介助しているうちに水っぽくなり、むせ易くなって困ります。



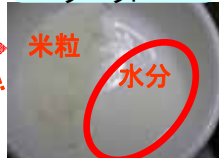
唾液中の成分「アミラーゼ」が粥のでんぷんを分解して水分が出てくる「離水」という現象です。唾液のついたスプーンで粥をかき混ぜることを極力避け、粥を予め小分けにしておくことで離水を防げます。



唾液1mlを全粥に垂らす



粥の水分が出て米粒はパラパラに…



フードケア「スベラカーゼ」(ゼリー化剤)等の商品は離水現象を予防できます。全粥に混ぜて使用も可能。当センターのペースト粥はスベラカーゼを使用しています。

お正月らしく♪ お餅風のレシピ

(フードケアのホームページ参照)

スベラカーゼの濃度を調整しペースト粥をゼリー状にすると嚥下障害の方でも食べやすいお餅風の料理ができます。



摂食・嚥下障害看護CN 青木ゆかり(2B・母子棟)

ストーマケア その1(消化管ストーマ)

ストーマについて知識を深めましょう!

ストーマとは、手術によって便や尿を排泄するために腹壁に造設された排泄孔のことをいい、消化管ストーマと尿路ストーマがあります。

結腸に造設されたストーマをコロストミーといい、一般的には腹部の左側に造設され軟便または有形便が排泄されます。また、回腸に造設されたストーマをイレオストミーといい、一般的には腹部の右側に造設され多くは水様便が排泄されます。



同じコロストミーでも、結腸のどの部位で造設されたかによって名前や便性も異なります。

皮膚・排泄ケアCN 室岡陽子(外来)